

質問紙調査「韓国、台湾、日本における望ましい死の認識の比較

に関するアンケート調査」に参加される皆様へ（調査に関する情報公開）

2018年4月20日

日本緩和医療学会では、以下の内容で郵送法による質問紙調査を実施しております。調査に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【調査の目的】

本調査は、韓国、台湾、日本において、専門的緩和ケアに従事する医師を対象に望ましい死の認識を調査し、その共通点、相違点を明らかにすることです。日本緩和医療学会では、韓国ホスピス・緩和ケア学会、台湾ホスピス協会と連携してこの調査を実施しています。

【対象となる方】

2018 年 4 月 1 日の時点における、日本緩和医療学会緩和医療専門医ならびに日本緩和医療学会代議員である医師の方です。

【調査期間】

2018 年 4 月 21 日～2018 年 5 月 31 日を予定しています。

【調査の方法】

調査は郵送法を用いて行います。アンケートでは、望ましい死の認識に関する調査をさせていただきます。調査票一式の郵送から 2 週間後に全員に督促のお願い書を郵送させて頂く予定です。

【プライバシーの保護】

アンケートは匿名で回答して頂き、回収後は調査事務局で集計・解析されます。調査結果は統計的な処理をして公表されるため、回答した個人の情報が公開されることは一切ありません。

【調査へのご協力について】

調査へのご協力は任意であり、ご協力頂けなくとも不利益となることは一切ありません。

【調査への同意と同意の撤回について】

本研究は郵送法による研究ですので、本書面をお読みいただき、調査用紙の同意欄へのチェック、調査用紙の記入及び返送をもって、調査にご同意をいただいたとさせていただきます。調査票はどなたが回答されたか分からないようになっているため、一度提出された後に同意撤回することはできません。

【本調査に関する問い合わせ先】

調査に参加・協力することに関するご質問やご意見がありましたら、ご遠慮なく下記までご連絡いただければ幸いです。

調査事務局：特定非営利活動法人 日本緩和医療学会事務局

〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1 丁目 4-8 日栄ビル 603B 号室

TEL : 06-6479-1031 / FAX : 06-6479-1032

Email: info@jspm.ne.jp

調査責任者：特定非営利活動法人日本緩和医療学会 学術委員会

国際共同研究 WG 長 木澤 義之